

令和5年度第1回「ぬくもりの里伊勢宮」運営推進会議

日 時：令和5年5月16日（火）14時～
場 所：ぬもりの里伊勢宮 地域交流室

1 施設の利用状況について

・稼働率	3月	特養	100.00%	ショート	80.00%
	4月	特養	100.00%	ショート	69.00%
	2か月平均	特養	<u>100.00%</u>	ショート	<u>74.50%</u>
(参考3・4年度同期)		特養	99.26%	ショート	85.77%

特養は、3、4月ともに退所者及び入院者もおらず100%を維持できました。現在も29床満床を維持できています。

ショートステイは、4月は利用者の急な入院や他施設への入所などのためのキャンセルなどあり、稼働率が減少しました。5月以降は、80%を超える予約が入っています。今後も、引き続き地域の皆様に気軽に利用していただきたいと考えております。

2 人事異動について

- ・3月 採用1名、異動2名 4月異動1名

3月に、2F介護職員を相談員に異動させ、その関係で介護員を1名採用しました。前任の相談員は、他施設に異動となりました。

また、4月から、新たに副施設長が就任しました。

3 行事・研修等の状況について

- ・3月10、13日 リーダー主催研修（介護の適切な声掛け等）
- ・3月14日 令和4年度第6回運営推進会議
- ・5月16日 令和5年度第1回運営推進会議
- ・5月29、31日 リーダー主催研修（介護現場におけるリスクマネジメント）
- ・6月22日 第1回消防訓練

4 その他

- ・新型コロナウイルス感染関係について

2月以降は、入居者、利用者及び職員ともに、コロナ感染者はいませんでした。感染対策については引き続き万全を期しております。

また、感染対策のため、現在の家族面会はガラス越しで実施しておりますが、コロナが5類に引き下げられたこともあり、居室による面会など、感染状況を勘案しながら、臨機応変に対応していきます。

- ・令和4年度事業報告書について
別添資料のとおり

- 令和5年度運営推進会議開催予定日
(年間6回、奇数月第3火曜日)

5月16日、7月18日、9月19日、11月21日、1月16日、3月19日

- ・令和4年度運営推進会議実施結果

施設にて実施(3回) 7月19日、11月15日、3月14日

書面にて実施(3回) 5月17日、9月20日、1月17日

(参考)

運営推進会議メンバー

氏名	構成区分	職名等
	長野市地域包括支援センター	安茂里介護サービスセンター
小林 晴美	当該事業に知見を有する者	ケアプランセンター川中島管理者
寺澤 悦子	地域住民の代表者	民生児童委員
小林 廣	地域住民の代表者	伊勢宮区長
松本 研一	地域住民の代表者	差出南区長
春原 紀子	利用者家族代表者	
矢沢 信二	施設職員	施設長
澤田 亮	施設職員	副施設長
黒崎 彩香	施設職員	ショート生活相談員
松井 貴之	施設職員	ケアマネージャー兼生活相談員

◎ 運営推進会議議事録

小林伊勢宮区長

- ・事業報告書をみると、前年度に比べ、稼働率がかなり伸びているが要因は何か。
 - 特養については、退所者や入院者が少なかったことが要因だと思います。
ショートについては、新規を積極的に受入れた結果だと思います。
- ・今年度地区の避難訓練を行う時には、お声がけしたい。
 - ぜひお願いしたい。

寺澤民生児童委員

- ・コロナが落ち着いてきたら、施設として何か考えているか。
 - 入居者や利用者を積極的に外出支援していきたい。例えば地区のお祭りや行事などに参加したい。

春原家族代表者

- ・親がいつもお世話になっています。入居者の皆さんは施設ではどのように過ごしていますか。
 - 通常の介護に加え、ご利用者さんの空いた時間には、積極的にコミュニケーションをとったり、軽い運動を行ったりしています。
また、自分の好きな事をしていただいたり、タオルたたみなど手伝っていただいたりしています。

小林ケアプランセンター管理者

- ・ショートステイの緊急の受入れは行っているのか。
 - 部屋が空いている場合は、受入れを行っています。

矢口地域包括センター職員

- ・施設の特徴としてアピールできることは。
 - 地域密着型なので小規模施設の特徴を生かして、個々人の生活を大事にしてたケアを心がけ、コミュニケーションを積極的に行っています。
また、新たな試みとして、地域交流室で週1回、「ぬくもり喫茶」という喫茶店を開き、好きな飲み物とおやつを提供し、非日常を感じていただいているなど工夫しています。